

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371401437
事業所名	グループホーム 名古屋滝ノ水の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) “いきいきクラブ”(地域で活動する高齢者グループ)の代表者がホーム運営に理解があり、様々な交流がある。代表は運営推進会議のメンバーであり、毎年行われるホームのX’マス会には、“いきいきクラブ”から10名近い会員がホームを訪れる。 “いきいきクラブ”の会員が、毎月自主的に地域清掃を行っており、ホームの利用者が散歩の途中で清掃の手伝いをしている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 2ヶ月に1度の運営推進会議には、利用者、家族、地域包括支援センターの職員、いきいきクラブの代表者、知見者(看護師)が参加している。 利用者の状況、職員の状況、活動状況と今後の予定を報告し、外部評価に関してもコメントしている。利用者から、夏の“流しそうめん”が好評を博したことが報告され、来年度も実施することを決定した。	評価	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 生活保護の受給者が2名利用していることから、管理者は毎月区・保護係の窓口を訪ねて連携を図っている。 良好な関係が構築されており、利用希望者の紹介を受けることもある。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 管理者と職員は、常に利用者や家族の意見や要望を把握するように意識しており、把握した場合には可能な限り実現に向けて取り組んでいる。利用者や家族の強い要望で、“流しそうめん”を来年度も実施することが決まった。 毎月の請求書の送付に合わせ、ホームや利用者の状況を載せた便りを家族に届けている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎		